



がん遺伝子パネル検査について



がん遺伝子パネル検査とは？

がんの組織や血液を用いて複数の遺伝子を同時に調べる検査です。

- ・ 遺伝子変異に対して、期待される治療の情報が得られる場合があります。
- ・ 有効な情報が全く得られない可能性があります。
- ・ 遺伝性腫瘍の可能性が判明することがあります。
→可能性が判明した場合、診断を確定させるためには専門施設での受診が必要となります。



がん遺伝子パネル検査の対象となる患者さんは？

当院で実施するがん遺伝子パネル検査は健康保険適応の検査です。下記のような方が対象となります。

- ・ 標準治療がない原発不明がんや希少がんの患者さん
- ・ 標準治療が終了となった固形がんの患者さん
- ・ 検査結果判明後に抗がん薬治療を受けられる可能性が高い、全身状態や血液検査で問題がない患者さん

※遺伝子パネル検査をご希望される患者さんで、上記に当てはまらない場合は**自費**での検査となります。
当院では自費での遺伝子パネル検査を行っていないため、自費での検査希望については他施設をご紹介します。



検査の流れと費用について



STEP1 初回外来 検査の説明・組織の確認

再診料（もしくは初診料）＋ 病理診断料
本検査のために新たに生検をした場合⇒＋検査料
※高額療養費制度の対象となります。

1～2週

担当医より検査について説明いたします。
その後、本検査に使用可能な品質のがん組織があるかを確認します。
※必要に応じて追加の検査を行うこともあります。

STEP2 2回目外来 検査同意・提出 → 専門家会議での検討

再診料＋約14万7千円（3割負担の場合）
※高額療養費制度の対象となります。

4～6週

検査について同意書を交わし、検査会社にごがん組織を提出します。
検査結果をふまえて、がんゲノム医療中核拠点病院である北海道大学
病院での専門家会議で、有効と思われる薬剤の有無を検討します。

STEP3 3回目外来 結果説明

再診料＋約4万円（3割負担の場合）
※高額療養費制度の対象となります。

専門家会議での検討結果について主治医より説明いたします。
今後の治療方針についてご相談を行います。